

2007.6.29
生駒市緑の市民委員会

緑の保全と創出

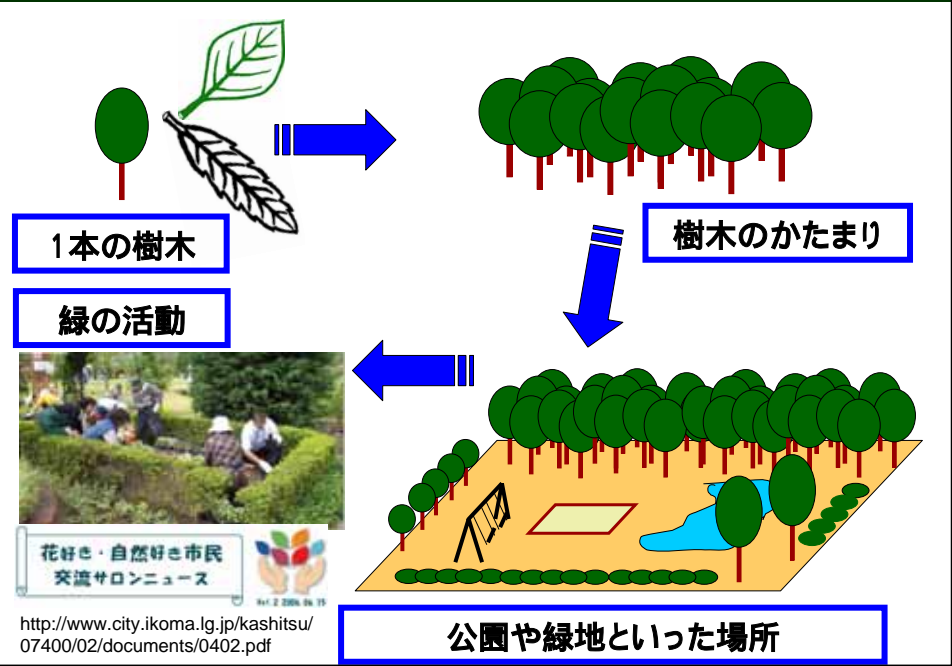
大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科
緑地環境科学専攻 緑地保全・創成学講座

准教授 下村 泰彦

緑の保全と創出 ～ 目次 ～

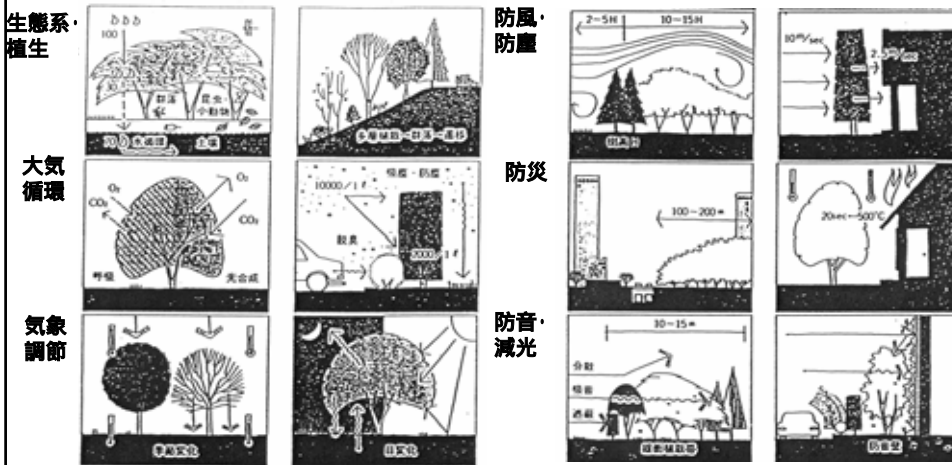
1. 「みどり」とは？
2. 緑の機能
3. 私たちの周りに存在する「みどり」
4. 生駒市の広域的な緑
5. 緑の現状
6. 減少樹林分布
7. 緑を守る法制度
8. 山の緑
9. 里山の緑
10. 市街地の緑
11. 植栽事例
12. 景観に配慮した事例
13. 緑の植え方と配慮すべき点
14. 公園に花壇を設置する際の考え方
15. 植栽デザインによる効果の例
16. 「緑の保全と創出」に関する新たな制度の概要

1. 「みどり」とは？



2. 緑の機能・1

機能構成・A 環境植栽

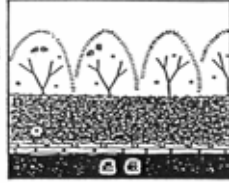


出典:「図説生活空間(アメニティ)と緑」アメリカ合衆国内務省・米国造園家協会 ソフトサイエンス社1990

2. 緑の機能・2

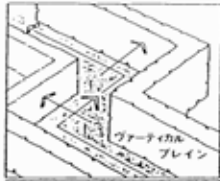
機能構成・B 領域植栽

境界・領域・
遮蔽



機能構成・C 指標植栽

ピスタ
アイストップ



ランドマーク

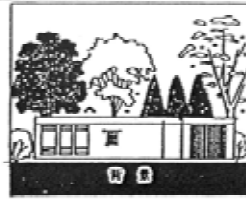
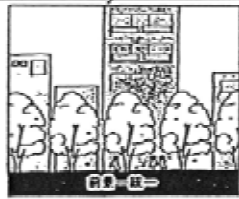
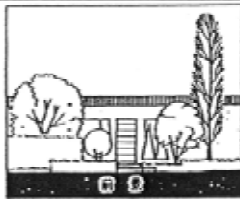


出典：「図説生活空間(アメニティ)と緑」アメリカ合衆国内務省・米国造園家協会 ソフトサイエンス社1990

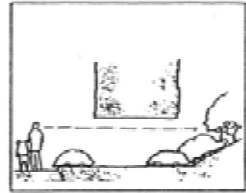
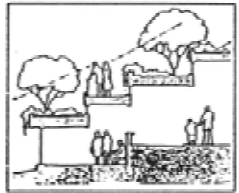
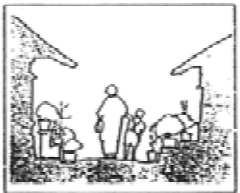
2. 緑の機能・3

機能構成・D 調和植栽

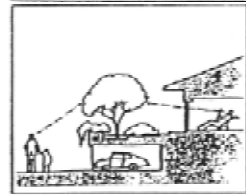
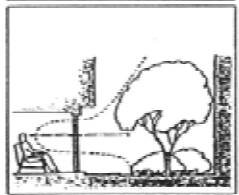
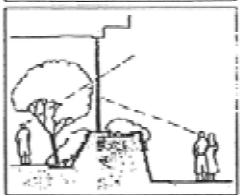
前景・背景



接点(外部化)



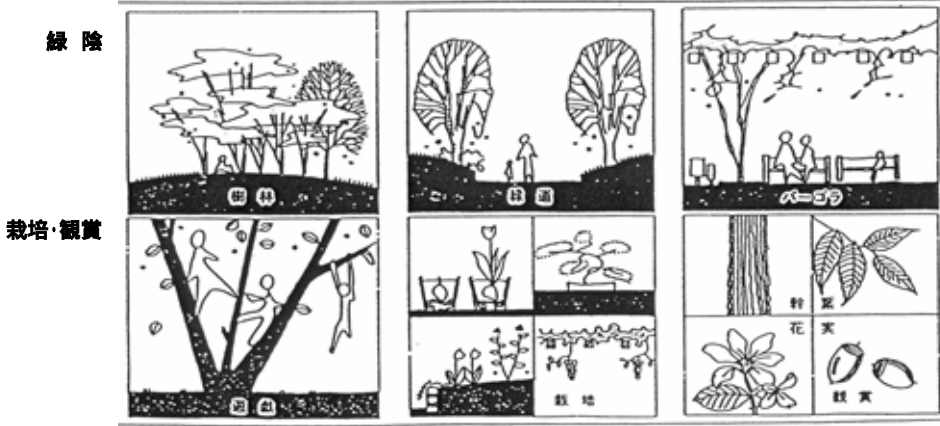
接点(内部化)



出典：「図説生活空間(アメニティ)と緑」アメリカ合衆国内務省・米国造園家協会 ソフトサイエンス社1990

2. 緑の機能・4

機能構成・E
レクリエーション植栽

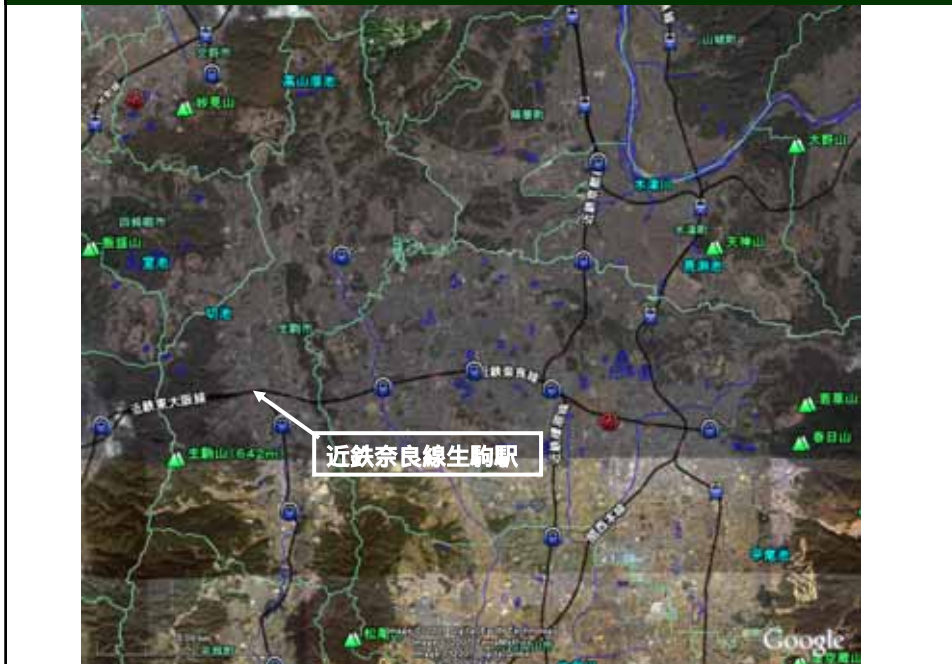


出典：「図説生活空間(アメニティ)と緑」アメリカ合衆国内務省・米国造園家協会 ソフトサイエンス社1990

3. 私たちの周りに存在する「みどり」



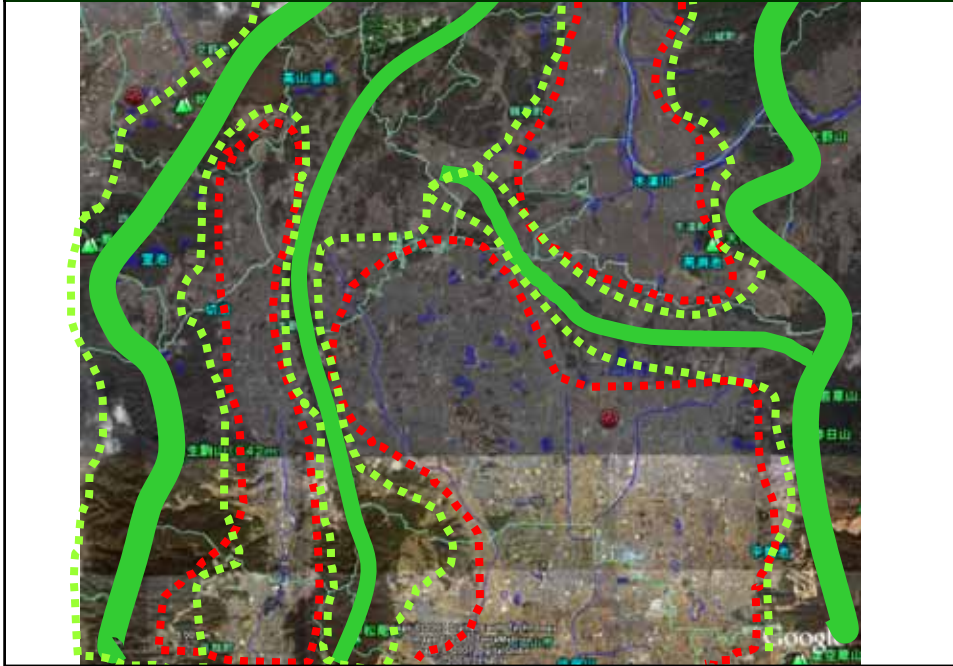
4. 生駒市の広域的な緑(1) — 生駒市周辺の様子 —



4. 生駒市の広域的な緑(2) — 市周辺の道路 —



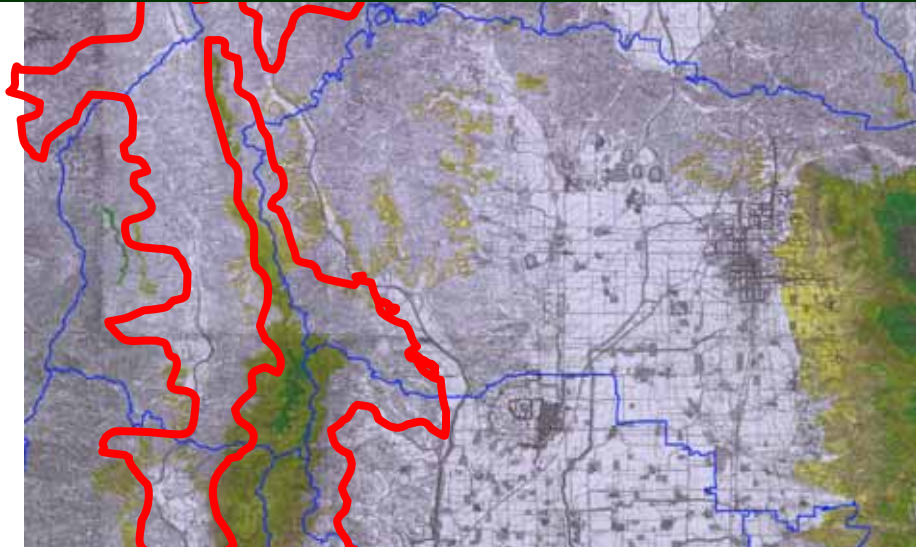
4. 生駒市の広域的な緑(3) - 尾根と市街地 -



4. 生駒市の広域的な緑(4) - 市街地の広がり -

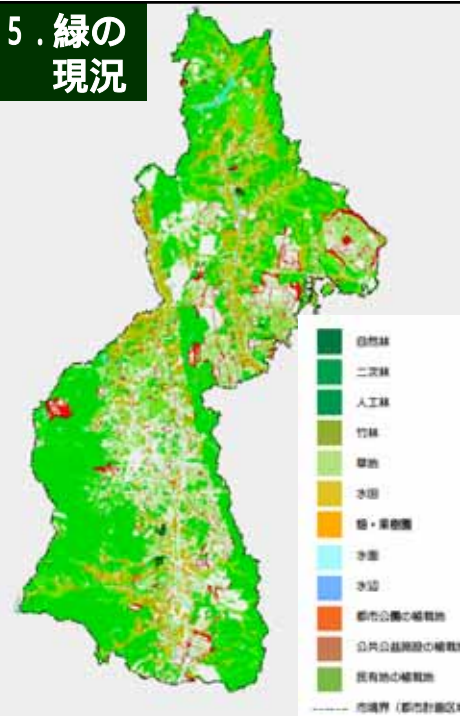


4. 生駒市の広域的な緑(5) - 生駒市の様子(1989年) -

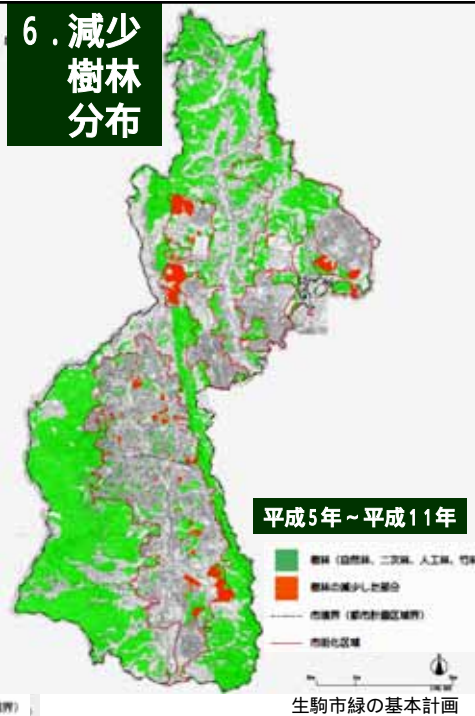


山系、丘陵地……………: 緑の保全
 市街化された地域……………: 残された緑の保全 + 新たな緑の創出

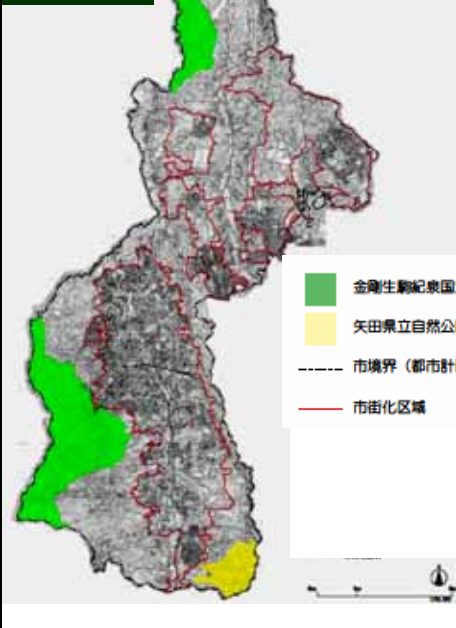
5. 緑の現況



6. 減少樹林分布



自然公園 区域

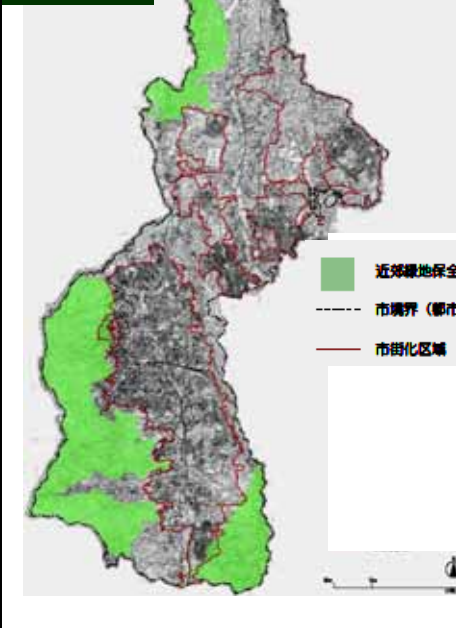


- 金剛生駒紀泉国立公園
- 矢野県立自然公園
- 市境界（都市計画区域界）
- 市街化区域

7. 緑を守る法制度(1)

地 域 地区等	金剛生駒 紀泉国立公園	矢野県立自然公園
根拠法令 及び 交付年月日	自然公園法 (S32.6.1)	自然公園法 (S32.6.1) 奈良県立自然 公園条例 (S41.12.20)
地 域 指定権者	環境庁長官	知事
地域の要件 または 指定基準	国立公園に準ずる 我が国のすぐれた 自然の風景地（第 2条第3項）	県内にあるすぐれた 自然風景地（県 条例第2条）
規制内容	工作物の新築、改築、増築、土地の 開墾その他土地の 形状変更、その他 の行為について許可 または届出が必要 （第17条第3 項、第20条）	工作物の新築、改築、増築、土地の 形状変更等の行為 について許可または 届出が必要（県 条例第5条、第7 条）
規制権者	環境庁長官	知事

近郊緑地 保全地区

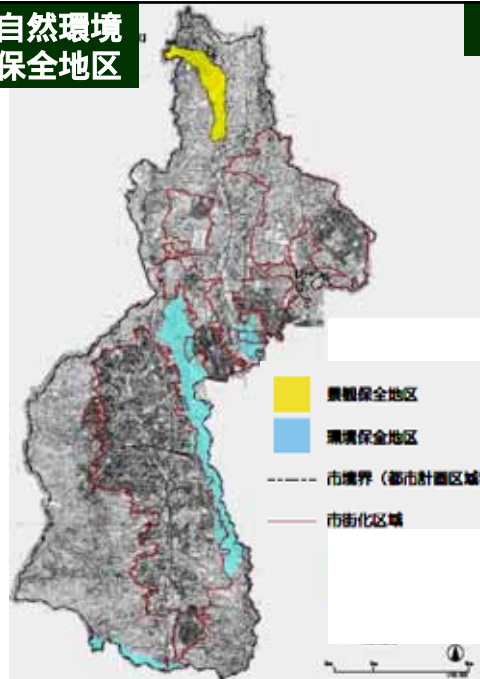


- 近郊緑地保全地区
- 市境界（都市計画区域界）
- 市街化区域

7. 緑を守る法制度(2)

地 域 地区等	近郊緑地保全地区
根拠法令 及び 交付年月日	近畿圏の保全区域の整備に関する法律 (S42.7.31)
地 域 指定権者	内閣総理大臣
地域の要件 または 指定基準	近郊緑地 ^(注) のうち無秩序な市街化の恐れが大であり、かつこれを保全することによって得られる既成都市区域及びその近郊の住民の健全な心身の保持及び増進又はこれらの地域における公害もしくは災害防止の効果が著しい土地の区域（第5条第1項） (注) 近畿圏整備法第2条第1項で規定された既成都市区域の近郊における同法第14条第1項の規定により指定された保全区域内の農林地（これに隣接する土地でこれと一体となって緑地を形成しているもの及びこれに隣接する地帯を言む。）であって相当規模の広さを有しているもの。
規制内容	建築物その他の工作物の新築、改築又は増築（第9条第1項第1号） 地盤の造成、土地の開墾、土石の採取、鉱物の採掘その他の土地の形状の変更（同2号） 木竹の伐採（同3号） 上記の他当該近郊緑地の保全に影響を及ぼす恐れのある行為で法令で定めるもの（同第4号） 上記について届出が必要

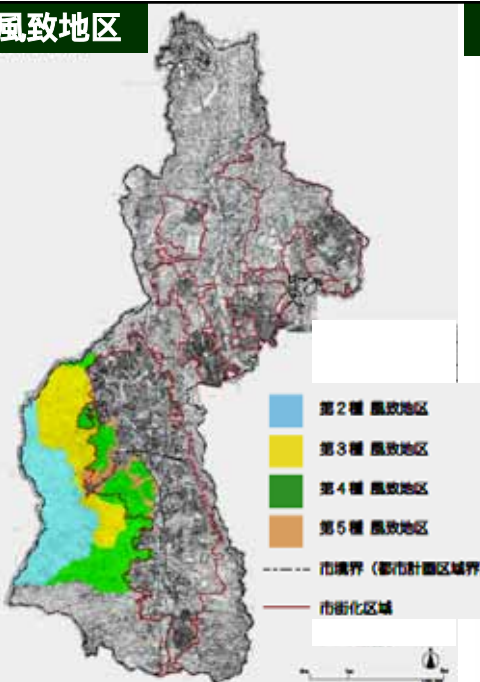
自然環境 保全地区



7. 緑を守る法制度(3)

地域 地区等	景観保全地区	環境保全地区
根拠法令 及び 交付年月日	奈良県自然環境保全条例 (S49. 3. 30)	
地域 指定権者	知事	
地域の要件 または 指定基準	森林、原生地、山岳、高原丘陵、古墳、渓谷、池沼、河川等により形成される県の代表的な自然景観を維持するために必要な地区(第27条第1項)	道路の沿道、市街地及びこれらの周辺で良好な環境を保全するために積極的に緑化などの推進をはかることが必要な地区(第27条第2項)
規制内容	その規模が規則で定める基準を超える建築物その他の工作物を新築し、改築し、または増築すること。(第28条第1項第1号) 建築物その他の工作物の色彩を変更すること。(同2号) 宅地を造成し、土地を開墾し、その他土地の形質を変更すること。(同3号) 木竹を伐採すること。(同4号) 野焼きをし、又は野草を切り取ること。(同5号) 鉱物を採掘し、又は土石を採取すること。(同6号) 水面を埋め立て、又は干拓すること。(同7号) 上記について届出が必要	

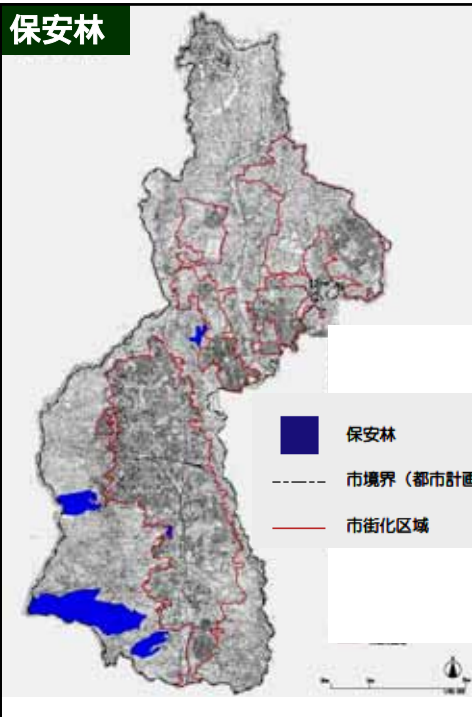
風致地区



7. 緑を守る法制度(4)

地域 地区等	風致地区				
根拠法令 及び 交付年月日	都市計画法 (S43. 6. 15)				
地域 指定権者	知事				
地域の要件 または 指定基準	都市の風致を維持する地区 (第9条第15号)				
規制内容	建築物その他の工作物の建設、宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質変更、水面の埋立又は干拓、木竹の伐採、土石の類の採取及び都市の風致の維持に影響を及ぼすおそれがあるものとして条例で定めるその他の行為について許可が必要(風致地区内における建築等の規制の基準を定める政令[S44. 12. 26] 第2条第1項)				
風致地区種別	高さ	建ぺい率	隣街後退距離 道路側	隣地側 隣地側	緑地率
第2種	10m以下	30%以下	2m以上	1m以上	30%以上
第3種	10m以下	40%以下	2m以上	1m以上	20%以上
第4種	12m以下	40%以下	2m以上	1m以上	20%以上
第5種	15m以下	40%以下	2m以上	1m以上	20%以上

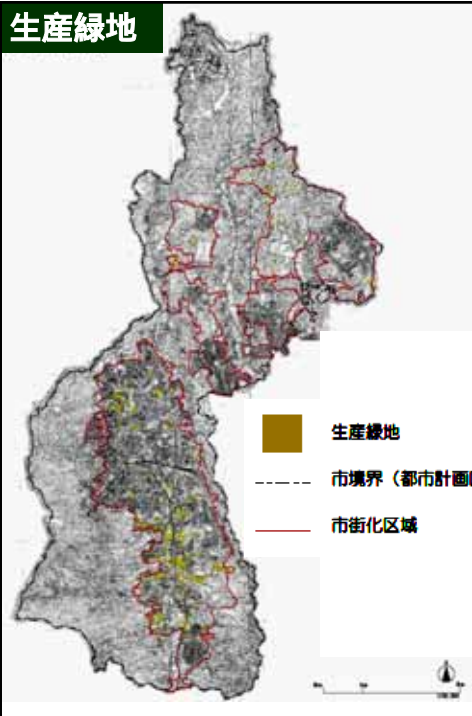
保安林



7. 緑を守る法制度(5)

地 域 地区等	保安林
根拠法令 及び 交付年月日	森林法 (S26. 6. 26)
地 域 指定権者	農林水産大臣、知事
地域の要件 または 指定基準	水源のかん養（第25条第1項第1号） 土砂の流出の防備（同2号） 土砂の崩壊の防備（同3号） 飛砂の防備（同4号） 風害、水害、潮害、干害、雪害又は霧害の防備（同5号） なだれ又は落石の危険の防止（同6号） 火災の防備（同7号） 魚つき（同8号） 航行の目標の保存（同9号） 公衆の保健（同11号） 名所又は旧跡の風致の保存（同12号）
規制内容	都道府県知事の許可を受けなければ、立竹を伐採し、立木を損傷し、家畜を放牧し、下草、落葉若しくは落枝を採取し、又は土石若しくは樹根の採掘、開墾その他の土地の形質を変更する行為をしてはならない。（第34条第1項）

生産緑地



7. 緑を守る法制度(6)

地 域 地区等	生産緑地地区
根拠法令 及び 交付年月日	生産緑地法 (S49. 6. 1)
地 域 指定権者	市長
地域の要件 または 指定基準	市街化区域（都市計画法（昭和43年法律第100号）第7条第1項の規定による市街化区域をいう。）内にある農地等で、次に掲げる条件に該当する一団のものの区域。（第3条第1項） 公害又は災害の防止、農林漁業と調和した都市環境の保全等良好な生活環境の確保に相当の効用があり、かつ、公共施設等の敷地の用に供する土地として適しているものであること。（第3条第1項1号） 500平方メートル以上の規模の区域であること。（同2号） 用排水その他の状況を勘案して農林漁業の継続が可能な条件を備えていると認められるものであること。（同3号）
規制内容	建築物その他の工作物の新築、改築又は増築（第8条第1項第1号） 宅地の造成、土石の採取その他の土地の形質の変更（同2号） 水面の埋立て又は干拓（同3号） 上記について許可が必要

8 . 山の緑(1) -山の風景:イタリア・トスカーナ地方(1)-



8 . 山の緑(1) -山の風景:イタリア・トスカーナ地方(2)-



8 . 山の緑(2) 一六甲山の造山事業(1)一

出典 <http://sv.hint.ne.jp/rokkosan/> 2007.6.24

明治36年施工中



8 . 山の緑(2) 一六甲山の造山事業(2)一

再度山・植林工事完成直後
明治36年(1903年)

